

平成会グループの各施設からのお便りをお届けします！



有料老人ホーム せせらぎ

平成会唯一の有料老人ホームとして
気持ちよく過ごしていただく努力を惜しみません。

住所 塩尻市宗賀1298-92
開設 2008年 3月
定員 124名



旬にこだわった 季節の行事食

平成会全体として食事を大切にしていますが、大型キッチンを持つせせらぎでは、すべての食事を施設内で作っています。メニューも充実していて、特にクリスマスディナーはフルコースで提供。中庭のイルミネーション

とともに毎年大好評です。秋は中庭に面したテラスで、入居者様も参加しながらサンマ会や芋煮会を楽しんでいただきます。



入居者様に喜ばれる サービスを職員の努力で

夏祭りやクリスマス会、節分などでは、スタッフによるアト



ラクションが会を盛り上げます。レクリエーション委員会が中心となって精力的に取り組んでいます。コロナ禍で外部の専門家やボランティアに来ていただけないため、職員が一生懸命工夫したり協力しながら、入居者様に喜んでいただけるよう、クオリティーの高いサービスに力を入れています。

生活相談員より

新卒でせせらぎに勤務して10年以上。介護職員として現場で経験を積んだ後、現在は入居の相談から入居契約まで全般を担当しています。



介護支援専門員 中田 祐太さん

ほっと NEWS

職員が全力！毎月の誕生日会



毎月開く誕生日会では、特別メニューのお食事のほか、季節ごとの趣向も取り入れたアトラクションが好評です。オリジナルの衣装や小道具を用意し、ダンスや演劇の練習にも力を入れています。限られた時間の中、入居者様の喜ぶ姿を想像しながら、職員自身が楽しんでます。



よくこれだけの催し物を毎月毎月やってきたなと驚きです！（中田）

お知らせ

平成会 スタッフ募集中！

職員募集についての情報は、右記QRコードよりご確認ください。



編集後記

私事です。が昨年大きなケガをしてリハビリ中です。「また同じケガをするかもしれない」と怯えたり、やりたいことを諦めたり。でもGHさとの事例発表から、現状を悲観するより今できることを楽しむ意識改革が必要、嘆くのは時間がもったいないな、と感じました。小学生の娘が「お母さんが動けない分、妹が手伝ったり私も料理のレパートリー増えたし、いいこともあったよ！」と。彼女たちは現実を受け入れ、前向きにとらえる努力をしていたようです。できることをいかに楽しむか。今年のテーマになりそうです。



みやざわ

社会福祉法人 平成会

介護はこころ

真心と幸せ、そして心の豊かさを感じられる生活を送っていただけるよう、今日一日、その全てに一期一会の精神で臨み、「共に歩む」の法人理念を実践してまいります。



平成会 通信

介護のいまを知り、
みらいを創る

2022 WINTER 04

想いに寄り添う
ことを一番に。



TOPICS

介護のプロだからできる地域貢献 認知症サポーター養成プロジェクト

表紙/有料老人ホーム せせらぎ
看護師 竹内 梨紗
(2022.1.12撮影)

介護のプロだからできる地域貢献

認知症サポーター
養成プロジェクト

高齢社会において、認知症の人に対する正しい理解と接し方は、地域で共有すべき大切な課題です。認知症の方が安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、平成会では、スタッフの専門性を生かした地域貢献活動として、認知症啓発事業に取り組んでいます。

認知症
サポーター
養成プロジェクト
とは？

認知症について一定の研修を受講した人が「認知症サポーター」となります。平成会は2016年に当プロジェクトを設立。養成講座の講師として認定された職員「キャラバンメイト」が、地域の企業や団体、学校などへ出向いています。これまで一般市民・法人職員で計5,083名のサポーターを養成しました(2022年1月現在)。



2022.1 岡谷南高校(岡谷市)

定期講座で全校がサポーターに！

1年生を対象に毎年行っている認知症サポーター養成定期講座。今年も1～2月にかけて予定していましたが、コロナ対策のため初めてオンラインで実施しました。講座テキストの内容をスライドにして説明し、途中、認知症の方への対応の「よい例」「悪い例」を紹介する動画を視聴。講座の後半に入る前には、認知症予防の「脳トレ手遊び体操」も体験してもらいました。



受講した感想

認知症になると人の助けが必要だったり、日々の生活に影響があることくらい知識しかありませんでしたが、講座では、認知症の方への接し方の再現VTRで、相手を思いやって優しく対応する様子がとても印象に残りました。対応のしかたが少しわかったかもしれません。今後の生活の中で役に立つ知識だったと思います。

岡谷南高校1年 Kさん

担任の先生から一言

講座後のアンケートでは「認知症について新しく知ることができた」とか、家族や地域の高齢者の「行動に気をつけたい」という声が多くあります。2年次の保健の授業で高齢と健康、高齢者のための社会的取り組みについて扱うので、いい予備学習になっています。介護現場の方による講座は、医療や福祉系を目指す生徒にとっては、生の声を聞けるいい機会ですね。



2021.11 岡田小学校(松本市)

子どもたちからの感想が励みに！

グループホームおかだ最寄りの岡田小学校では、利用者様との交流会が毎年恒例となっています。ところがコロナ禍で交流会はオンライン実施に。そこで今回の認知症サポーター養成講座では、グループホームおかだの施設を紹介しながら認知症についてお話ししました。また、高齢のご家族と同居する児童もいることを想定し、「ちょっと工夫するだけで生活しやすくなる！」実例も紹介しました。



／キャラバンメイトよりメッセージ／

平成会 認知症サポーター
養成プロジェクト
キャラバンメイト

濱 江里佳さん

小学校の講座では寸劇を取り入れたりしています。講座で流す認知症対応の再現動画の代わりに、リアルかつアドリブで演じると、子どもたちがとても盛り上がります。受講対象者に合わせて、人形劇や紙芝居を取り入れるなど、楽しく学ぶ工夫をこらしています。

今後ますます高齢化率は上がり、徘徊問題など多くの課題が生まれるでしょう。そんな時、知識を持った地域の若者が対処してくれたら素晴らしいです。外に出ることの多い高校生が認知症サポ

ーターとして意識を持ってくると、地域が変わるのではないのでしょうか。講座を開く意味合いはますます大きくなると思います。

認知症を知り、理解できる
サポーター養成講座を
開きませんか？

平成会では、学校ばかりでなく、企業・団体などでの講座も多数実施しています。「認知症サポーター養成講座」の開催について、ご相談・ご希望がありましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください。経験豊富なプロジェクトメンバーが、受講対象者の属性に適した講座内容を検討し、ご提案します。実施時間などのご要望にも応じます。

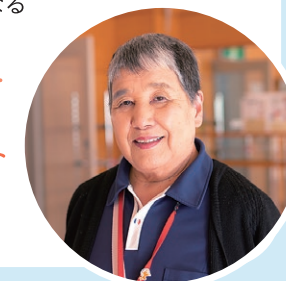


プロジェクトでは現在27名のキャラバンメイトが活動しています。ただ話を聞くだけでは飽きてしまうということで取り入れた寸劇は、受講者に合わせて登場人物の職業を変えるなど工夫しています。

一般住民対象の講座の後、話しかけてきた女性がいまいた。「最近友人から『認知症になった』と聞き、戸惑って電話ができなくなってしまった。でも今日の講座を聞いたら、今までと同じように電話していいんですね」と。認知症サポーターは「何かをする人」ではありません。認知症を正しく理解して、当事者と家族の応援者になる人です。もっとサポーターを育て、認知症になっても安心して暮らせる町になることを目指します。

平成会 認知症サポーター
養成プロジェクト キャラバンメイト

古内 悦子さん



平成会タイムス

2022.WINTER

ウェブ開催+オンデマンド配信で実施

事例発表会は今年もオンラインで開催

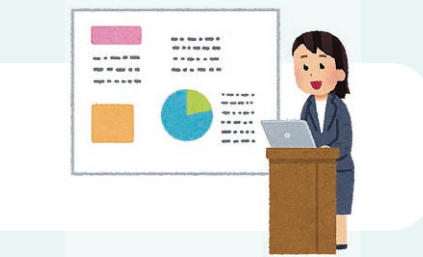
つながりを強くする 貴重な共有の場

今回で11回目となった法人事例発表会。各事業所での1年間の取り組みの成果を披露するこの会は、他施設の取り組みを知ることができる特別なイベントです。「つながりあう関係性を大切にしたい」「日々忙しいからこそ、それを目に見える形に変え、共感したい」という願いがこもっています。今年度も感染予防の

ため、去年同様ウェブ開催となりました。

事前に撮影された全20事業所のプレゼン動画は、動画共有サイトで職員に限定公開され、ネット上で投票を実施。その結果もふまえて審査され、優秀な発表は表彰されます。今年度は、法人全体で取り組む認知症ケア技法のユマニチュードや、食事介助技術KTSMに関する発表が多くみられました。

緊張感漂う撮影現場の様子も含め、いくつかの事業所の発表をご紹介します。



照明やマイクなど機材に囲まれた撮影現場

グループホーム さとび

「コロナだから何もできない」ではなく、今できるささやかなことをいかに楽しむかと気持ちを切り替え、利用者様、ご家族様、職員の絆を深める取り組みを発表。季節を感じていただく取り組みとして、利用者様が絵の具で染めた和紙を使い、季節ごとの創作活動を

コロナ禍を乗り越えて

～ご利用者様、ご家族様、職員と共に歩み絆を深める為に～

される様子が印象的です。写真を多く使い、利用者様が意欲的に活動されている様子が伝わります。利用者様が1年かけて育てたシャコバサボテンの開花を楽しむご様子、またそれをご家族様にプレゼントされたという、家族の絆を深めるエピソードも紹介されました。



素敵な作品を残したいという、職員の心が伝わる写真たちでした

発表者 小池 志帆さん、猿田 順子さん

ユマニチュードケアの定着に向けて ～実施状況報告と課題、今後の展望～

介護老人保健施設 掬水

掬水では、平成会のケアの三本柱の一つであるユマニチュードがスタンダードケアとなるよう、施設内で何度も研修を重ねて、職員への定着を目指しています。実際に利用者様にユマニチュードケアを実践してわかったこと、日々の忙しい状況の中で職員から寄せられた厳しい言葉もあったことが、率直に報告されました。改善策として、効果を実感できるようなケアを提供して職員の自信につなげようとしていま

す。利用者様が安心して質の高いケアを受けられるようにとの思いで、今後とも取り組んでいく姿勢が発表から見えました。

収録に備え、
入念に確認！



定着に向けてさまざまな方法で取り組もうとする思いが伝わりました

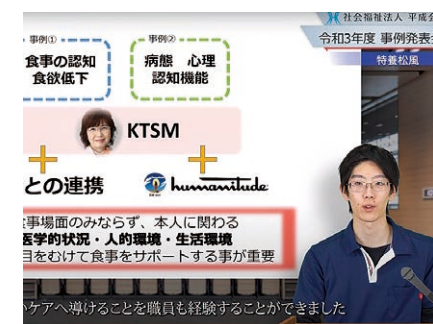
発表者 木下 大輔さん

介護老人福祉施設 松風

利用者様に負担をかけない 安全な食事介助を目指して

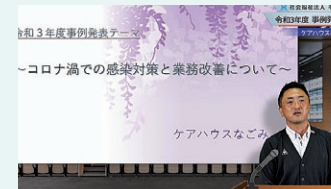
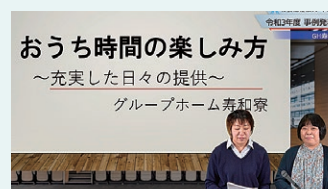
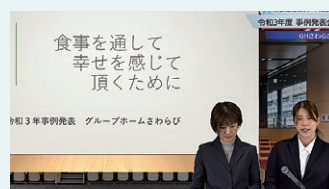
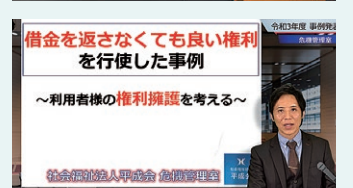
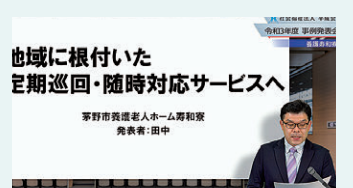
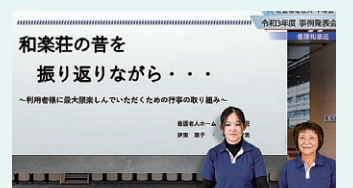
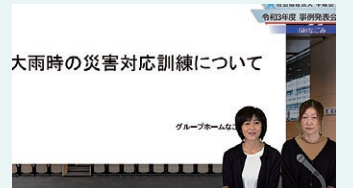
KTSMに取り組むなか、医師との連携やユマニチュードの技術を合わせることで、食事介助が困難だった方の改善がみられた事例について発表。全身の力みがあり食事介助時に口が開かない方の事例では、食事の場面以外に目を向ける重要性が報告されています。リラックスした環境で食事を楽しんでいただくための介入が興味深く、さらにユマニチュードの視点からの声かけや触れることなどでも緊張

を和らげました。よりよいケアへ導くことができた経験をもとに、広い視野を持ってケアを実践していきたいと結んでいます。



発表者 加々島 史龍さん

介入事例の具体的な取り組みとその成果が興味深いものでした



平成会

PHOTO DIARY

フォトダイアリー

2022 WINTER

人事部 人事企画課

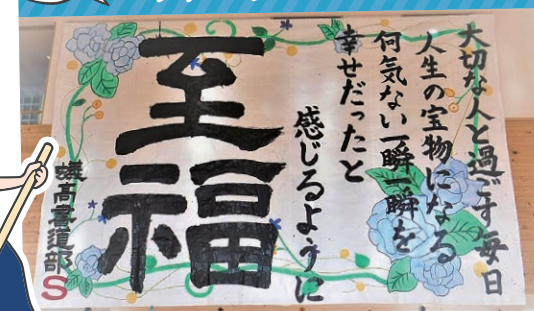


新卒学生の就活イベントで 介護職の魅力をPR!

平成会に関心を持ってもらいたい!という熱意を込め、平成会ならではの介護職の価値、楽しさ、やりがい、将来性といった魅力をPRしました!

塩尻市

ケアハウス なごみ



松本嶺ヶ崎高校書道部からの 応援メッセージ

全国大会優勝の書道部より、コロナ禍でも前を向いていただきたいとメッセージをこめて、1階ホール壁いっぱいの作品を作っていただきました。

茅野市
養護老人ホーム 寿和寮



手拍子で応援 年末恒例! 餅つき会

年末を締めくくるにふさわしい行事を、利用者様と職員が一緒に行いました。ついたお餅は立派な鏡餅になり、お正月気分を盛り上げました。



岡谷市

グループホーム 風薫



毎年変わらぬ季節の恒例行事 元氣よくお正月の準備!

「よいしょお」の掛け声に合わせて、昔ながらの臼ときねで餅つきをしました。できた餅は利用者様と鏡餅にして、歳神様をお迎えするお供えに。

下諏訪町

グループホーム 緑



雪だるまになるはずが ダースパイダー?

クリスマス会で喜んでいただきたと、雪だるまケーキに挑戦! あれ? 何だかダースパイダーみたい...これはこれで可愛いと大笑いしました。

注目のニュース!



12枚の手作り カレンダーが完成!

身体障がい者デイサービス事業「和楽」では、利用者様の親睦・交流と機能回復を兼ね、10年ほど前からカレンダー作りを行っています。毎月1枚ずつ仕上げる作品は、季節を連想させる絵柄と手作りの温かみを感じるものばかり。すべて利用者様のアイデアを元に、役割分担しながらの手作業で制作したものです。ダンボールや色紙を使って立体的に表現され、絵本のような楽しさがあります。

利用者様の“力作”を市民の皆様にも見ていただこうと、毎年12月に諏訪湖ハイツ(岡谷市)でカレンダー展を開き、大変好評をいただいています。



展覧会では、利用者様の力作が壁一面に並びました



自分ができる範囲の
ことを、手分けを
しながら制作

◆◆◆ うちの施設の ◆◆◆ 自慢のこんだて

vol.04 介護老人福祉施設 さわらび



固形燃料を
使っています!

漁師鍋

さわらびでは2021年度から、月に数回、特別な鍋メニューをご提供しています。コロナ禍で食事系のイベントが縮小する中、利用者様の新たな楽しみとなっています。1月下旬は、海の幸がたっぷり入って野菜もたくさんの「漁師鍋」をご用意しました。



福祉施設では、一般家庭のように食卓で火を使う調理は難しいのですが、固形燃料を使う一人鍋にすることで、ご家庭の鍋料理の雰囲気を感じていただいています。バリエーションを変えた鍋メニューは毎回好評です。

材料

- | | | |
|---------|-------|---------|
| ・たら | ・白菜 | 〈味付け〉 |
| ・ぶり | ・にんじん | ・食塩 |
| ・いわしつみれ | ・豆腐 | ・みそ |
| ・えび | ・ねぎ | ・酒 |
| ・あさり | ・しいたけ | ・しょうがなど |

つくりかた

魚の頭やあらなどでだしを取り、材料を入れて煮る。
いろいろな具材を使うとおいしいですよ!

つくったひと 温かいものは温かく、見た目や食器も美しくというのが、介護施設としての粋な計らいだという思いがあります。危険のないように準備工夫し、危ないからという理由でやらないのではなく、楽しく、喜んでいただけることを優先する必要があると感じます。「旅館やホテルの食事みたいで楽しいね」という利用者様の声もあって好評です!

にへい ゆりこ
管理栄養士 二瓶 百合子さん



コロナ禍前には、
豪快な公開調理の
イベントも!